



MAGIC☆PRINCE

2015年3月に東海地区出身・在住の男の子2,190人の応募の中から誕生した、愛知・三重・岐阜を元気にする次世代イケメンボーイズグループ。2ndAlbum『Believer』は昨年末にリリースされた。6月4日には8枚目のニューシングル「ゴメン、離したくない」のリリースが決定している。

アイドル好きな思いが強すぎて 僕自身がアイドルになっちゃった

幼稚園の頃からずっと「モーニング娘。」が大好き。小学生の頃はAKBファンで、名古屋や東京まで握手会に行っていました。高二の夏にジャニーズアイドルのソロコンサートに行った時「自分もアイドルになりたい」と初めて思ったんです。それからオーディションを受けて。なりたいと思ってから、結構すぐにアイドルになれましたね。

僕は将来の夢としてアイドルになりたいと思ったわけではなくて、アニメなんかによくある「普段は高校生だけど実はアイドル」という設定に憧れていて。じゃあ、高校生活あと1年ちょっとじゃーんって、急いで履歴書を準備した感じ。

「アイドルになったら学校をちょっと休めるかなー」くらいの感覚でいたら、学校側は「アイドルでも一切ひいきなし！」で、テストも課題もみんなと同じだったから、予想外にめちゃくちゃ忙しかった。レッスンで名古屋に通いながら、移動の電車で課題の縫い物をしたりして。温かく見守ってくれた先生方にはほんと感謝です。

SCHOOL INTERVIEW! 登校インタビュー

アイドル
MAGIC☆PRINCE
西岡健吾さん
浜松工業高校卒

「可愛い子ちゃん」と呼ばれたい!

浜松工業高校デザイン科在学中に、ご当地アイドルとしてデビューした西岡健吾さん。母校で高校時代の思い出を語った。

平日ロケの日は早退したり、途中から登校することもあって、三年生になってから丸一日学校にいられたのは週に2〜3日。朝、家からチャリで浜松駅に行って、新幹線で名古屋。ロケを終えて新幹線で浜松駅。そこから学校までチャリで50分みたいな。どんだけチャリこいだか!でもマジックプリンスの活動拠点が愛知・三重・岐阜だから、ローカルテレビでオンエアされても静岡では一切映らないっていう(笑)。

僕、高校時代から結構「かわいい」って有名だったんです、ほんとに。僕が廊下を歩くと、機械科や土木科の教室から「健吾、今日もかわいいよー」って男子が騒ぐくらい(笑)。だからこれからはもっと地元浜松でも老若男女に騒がれるくらい、可愛い子ちゃんとして有名になりたいんです。



購買のおばちゃんと。「よく購買でパン買ったな」。



職員室をのぞいては「みんな元気ー?」と先生に話しかける西岡さん。



デッサン室で、「放課後の教室で、独りで黙々と手を動かした日もあったな」と懐かしんだ。

西岡健吾 にしか けんご
1997年生まれ。浜松工業高校デザイン科卒業。愛知・三重・岐阜の東海三県を中心に活動するご当地アイドルユニット「MAGIC☆PRINCE」のセンターで、イメージカラーはピンク。現在「K-mix」でソロラジオ番組「西岡健吾のサタプリ!」のパーソナリティを担当。